

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月21日 (2013.11.21)

【公表番号】特表2013-507369(P2013-507369A)

【公表日】平成25年3月4日 (2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-011

【出願番号】特願2012-533264(P2012-533264)

【国際特許分類】

C 0 7 C 233/60 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 333/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/381 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 233/60 C S P

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 25/36

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 333/24

A 6 1 K 31/381

A 6 1 K 31/496

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月1日 (2013.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

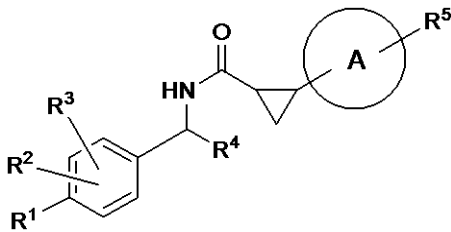
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 ( I )

## 【化 1】



( I ) ,

[ 式中、

A は、フェニルおよびチエニルから選択され；

R<sup>1</sup>は、4 - メトキシフェニル、4 - メチルフェニル、2 - エチルブトキシ、4 - エチルフェニル、2 - メチルブトキシ、2 - メチルペンチルオキシおよび 1 - ペンチニルから選択され；

R<sup>2</sup>は、水素、2 - メトキシおよび 2 - メチルから選択され；R<sup>3</sup>は、水素および2 - メトキシから選択され；

R<sup>4</sup>は、-CH<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>、-CH<sub>2</sub>OH、-CH<sub>2</sub>NH<sub>2</sub>および -CH<sub>2</sub> - (4 - メチルピペラジニル)から選択され；ならびに

R<sup>5</sup>は、水素である]

の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 2】

R<sup>3</sup>が水素である、請求項 1 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 3】

A がフェニルである、請求項 2 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 4】

R<sup>4</sup>が、-CH<sub>2</sub>OHである、請求項 3 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 5】

R<sup>4</sup>が、-CH<sub>2</sub> - (4 - メチルピペラジニル)である、請求項 3 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 6】

R<sup>4</sup>が、-CH<sub>2</sub>NH<sub>2</sub>である、請求項 3 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 7】

A がチエニルである、請求項 2 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 8】

R<sup>4</sup>が、-CH<sub>2</sub>OHである、請求項 7 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 9】

R<sup>4</sup>が、-CH<sub>2</sub> - (4 - メチルピペラジニル)である、請求項 7 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

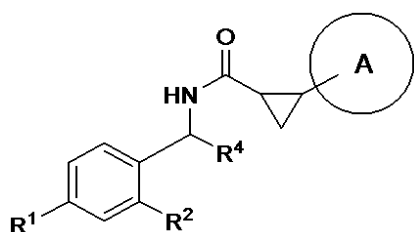
## 【請求項 10】

R<sup>4</sup>が、-CH<sub>2</sub>NH<sub>2</sub>である、請求項 7 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩。

## 【請求項 11】

式 ( I I )

## 【化 2】



(II) ,

[ 式中、

A は、フェニルおよびチエニルから選択され；

$R^1$  は、 $C_5 - C_6$  アルコキシ； $C_5$  アルキニル； $C_1$  アルコキシおよび  $C_1 - C_2$  アルキルから選択される 1 個の基で適宜置換されていてもよいフェニルから選択され；

$R^2$  は、水素； $C_1$  アルコキシおよび  $C_1$  アルキルから選択され；

$R^4$  は、ヒドロキシ -  $C_1$  アルキルおよび  $(R^a R^b N) - C_1$  アルキルから選択され；な

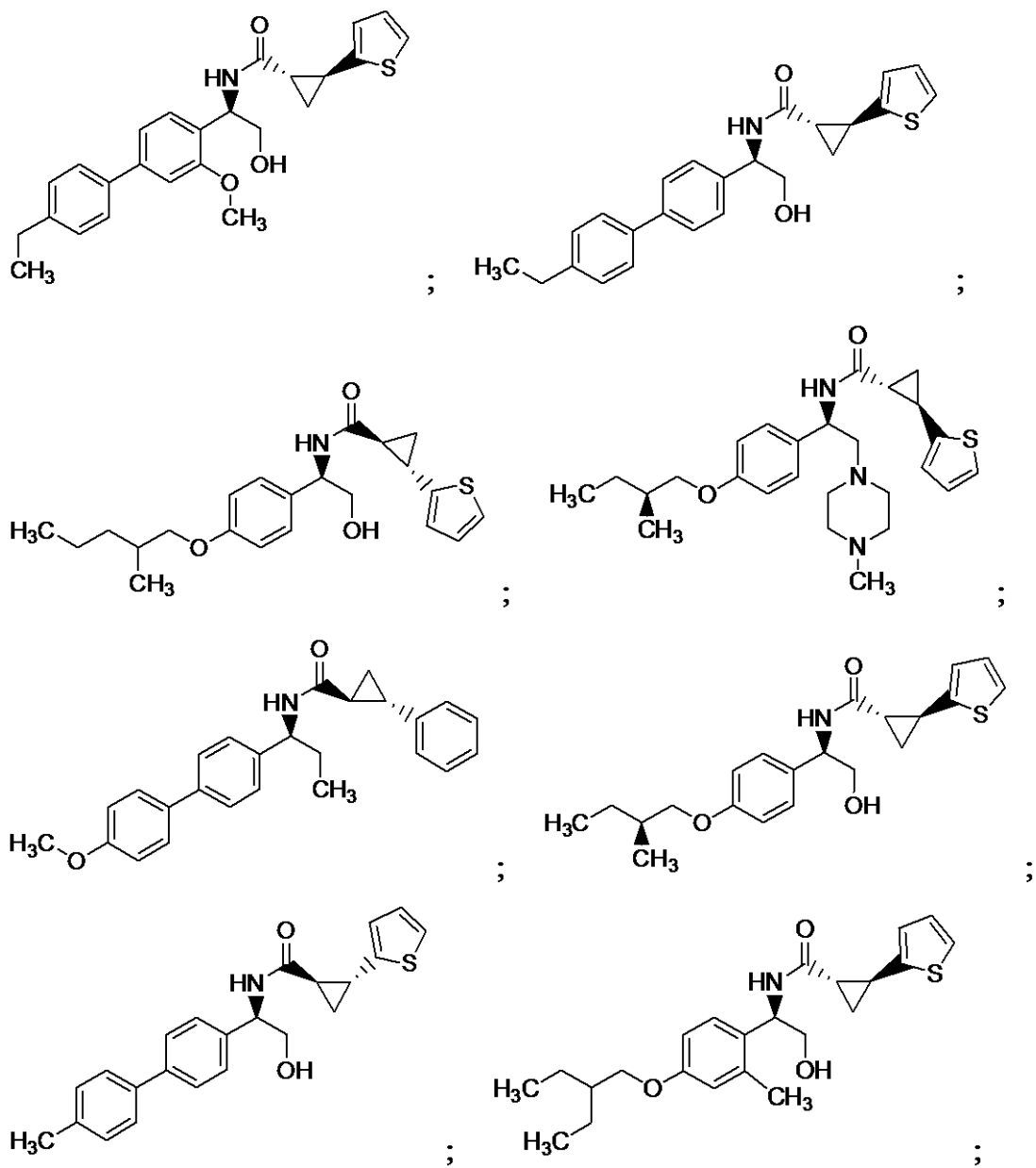
らびに  $R^a$  および  $R^b$  は、独立して、水素から選択されるか；または

$R^a$  および  $R^b$  は、それらが結合している窒素原子と一緒に、1 個の  $C_1$  アルキル基で置換されたピペラジニル環を形成する]

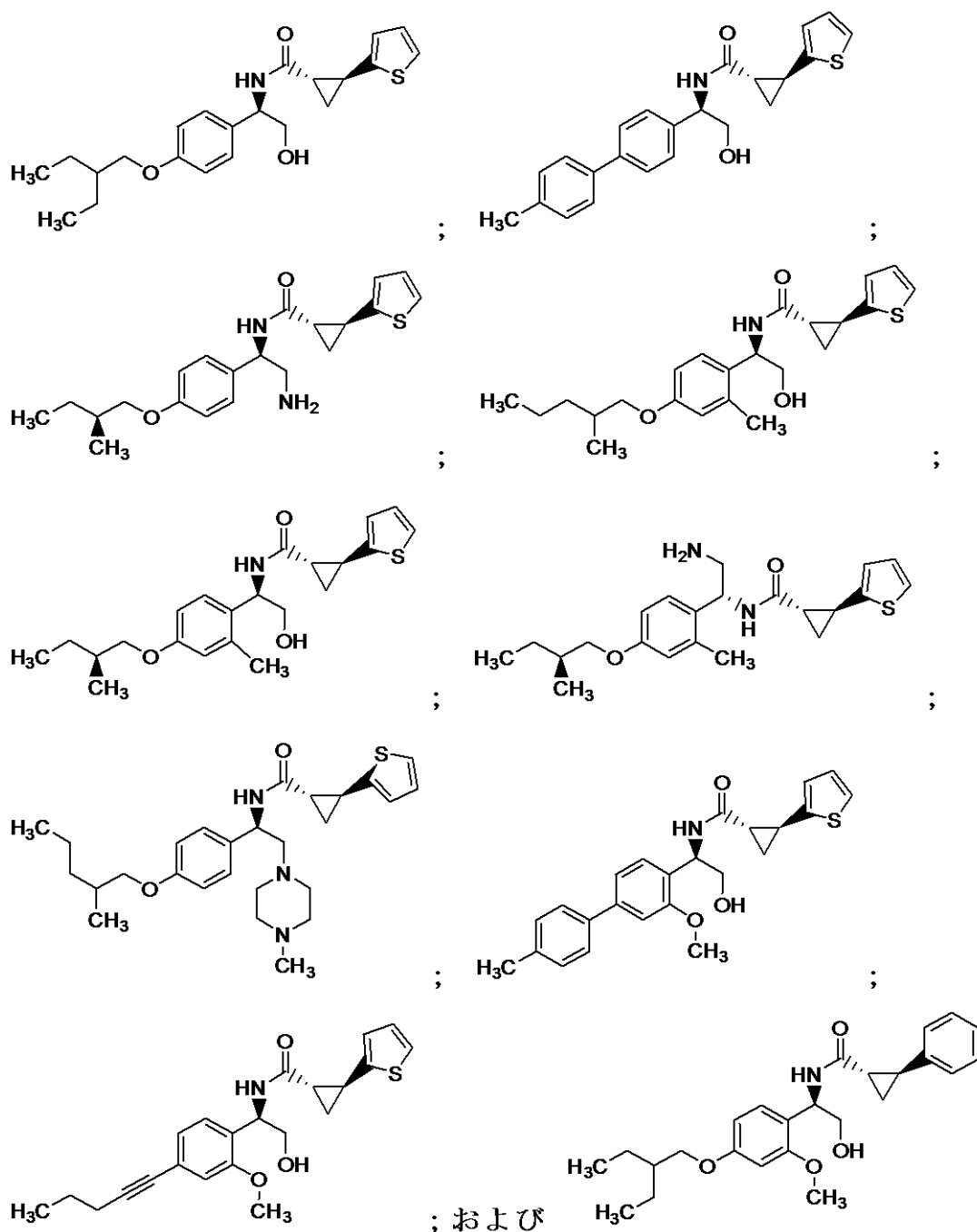
の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 1 2】

【化 3】



## 【化 4】



から選択される化合物。

## 【請求項 13】

請求項 1 に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩および医薬的に許容される担体を含む、組成物。

## 【請求項 14】

精神病、統合失調症の失認、感情障害、注意欠陥多動障害、薬物依存、パーキンソン病およびアルツハイマー病から選択される疾患の治療剤の製造における、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の化合物またはその医薬的に許容される塩の使用。

## 【請求項 15】

治療上の有効量の請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、精神病、統合失調症の失認、感情障害、注意欠陥多動障害、薬物依存、パーキンソン病およびアルツハイマー病から選択される疾患の治療剤。